

【JR宮古駅北側から見た外観イメージ】

### 【計画概要】

- 建設地 宮古市宮町一丁目、南町、山口第一地割の各一部
- 敷地面積 約16,766㎡
- 主要用途 市民交流センター(仮称)、市本庁舎、保健センター
- 建築面積 約4,879㎡
- 延床面積 約14,359㎡
- 構造種別 鉄骨造
- 階数 地上6階
- 高さ 約28m
- 付属施設 避難通路（自由通路）、エントランスゲート（通路出入口）、公用車庫棟

※数値などは変わる場合があります

中心市街地拠点施設整備事業については、これまで市民検討委員会や市民説明会、パブリックコメント（意見募集）、市議会などのご意見を伺いながら検討してきました。平成27年3月には「基本計画」を策定。このたび「基本設計」がまとまりました。

「市民が主役となるまち」の「市民に親しまれる施設」を目指し、今後も市民の参画と協働、情報開示をしながら検討を進め、事業の進み具合については、広報などでお知らせしていきます。

問い合わせ 市復興推進課市街地施設推進室（☎09089）

中心市街地拠点施設の整備事業について、このたび「基本設計」がまとまりましたので、主な内容をお知らせします。詳しい内容は、市復興推進課（市役所4階）、各総合事務所、各出張所、市立図書館、市ホームページ（[http://www.city.miyako.iwate.jp/fukkou/sigatitsetusuisinsitu\\_toppu.html](http://www.city.miyako.iwate.jp/fukkou/sigatitsetusuisinsitu_toppu.html)）で閲覧できます。



中心市街地拠点施設整備事業

「基本設計」が  
まとまりました

■各施設の階層構成と主な配置機能

		市本庁舎			
6階		●建物管理エリア 電気室、発電機室			
5階		●議会エリア 議場、傍聴者ロビー、議会図書館、議会事務局			
4階		●特別職エリア 市長、副市長、秘書 ●災害対策エリア 危機管理課、災害対策本部 ●執務エリア 総務部、企画部			
3階		●執務エリア 教育委員会事務局、都市整備部		市民交流センター（仮称）	
	保健センター				
2階	●事業実施エリア 保健・健康指導、健診など	●執務エリア 窓口（税務課）、産業振興部		多目的ホール、音楽スタジオ、軽運動スタジオ、カフェ、子どもふれあいコーナー、和室、創作活動室	
1階	●執務エリア 窓口（健康課）	●執務エリア 窓口（総合窓口課、生活課、福祉課、介護保険課）		防災展示学習ゾーン、情報提供コーナー、オープンスペース、会議室、防災広場	

**【施設の配置】**  
 ▷「市本庁舎」「市民交流センター（仮称）」「保健センター」の3つを一つの建物として建設。移動がしやすい便利な施設を目指します。▷周辺地域への圧迫感や日当たりを考慮し、6階建ての「市本庁舎」を中央に配置します。【右図上図参照】

**「市庁舎の位置を変更する条例」が可決**

2月1日に開かれた臨時市議会で、市の本庁舎と分庁舎の位置を現在地から「宮古市宮町一丁目1番30号」に改正する条例案を提出しました。記名投票による採決の結果、19対9の賛成多数で可決されました。※同条例案は、地方自治法で「出席議員の3分の2以上の同意が必要」と定められています

今後、28年度は「実施設計」作業を行い、建設工事に着手。30年夏の完成を目指します。

**●耐震**  
 大地震でも倒壊しないよう、国が定める耐震安全性の中で最も高いI類（建築基準法の1・

**防災計画**

会傍聴者のためロビーなどを配置。傍聴席へは誰もが出入りしやすく、席から議場の様子が分かりやすい配置とします。

**●災害支援活動の拠点に**  
 駐車場は、災害時には緊急・救援車両の活動拠点と

**●防災・減災意識を向上**  
 「市民交流センター（仮称）」内に「防災展示学習ゾーン」を設けます。また

**●洪水・浸水対策**  
 施設1階の床の高さを周辺の地盤より約1m高くします。防災備蓄倉庫と機材倉庫はさらに50cm以上の位置にします。

**●被災者支援**  
 「市民交流センター（仮称）」を災害発生直後の一時避難場所とし、被災者を受け入れます。「保健センター」は緊急時の被災者の健康維持や、医療チームなどの活動を支援する拠点となります。

**●ライフレイン**  
 災害時にライフレインが途絶えた時にも、防災拠点として機能を維持できるように、非常用自家発電機・耐震性緊急貯水槽などを設置します。

5倍の強度）を確保します。

**階層構成**

次のポイントを考慮して計画しました。各部署などの配置については、上の「各施設の階層構成と主な配置機能」をご覧ください。

**●市民が使いやすい低層部**  
 「市民交流センター（仮称）」と「保健センター」は2階建てとします。「市本庁舎」の1・2階には、市民の利用頻度が高い窓口を配置。さまざまな目的を

持った人が行き交い、多くの情報に触れることで、新たな交流が生まれることが期待されます。

**●業務の連携に配慮した高層部**  
 「市本庁舎」の3・4階に執務エリアを配置。また4階に特別職エリアと災害対策エリアを隣接させ、災害時の指揮系統の迅速な連携を図ります。

**●傍聴しやすい議会**  
 「市本庁舎」5階の議会エリアには、議

■施設規模（単位：㎡）

施設名	延床面積	概要
市民交流センター（仮称）	約4,831	災害発生時の一時避難者想定人数などを基に計画
市本庁舎	約8,254	市の将来目標職員数（平成33年度）や、市議会議員数などを基に計画 ※現在の市庁舎面積は約9,835㎡
保健センター	約1,274	被災前の規模(950㎡)に、エレベーターや多目的トイレ、授乳室などを追加
合計	約14,359	

■事業費の内訳（単位：億円）

種別	金額
施設建設費（外構、造成費などを含む）	86.0
設計費、備品消耗品費など	8.7
用地取得費など	7.3
自由通路（避難経路）の整備費	8.0
合計	110.0

■財源の内訳（単位：億円）

種別	金額
復興交付金	29.7
災害復旧費	2.7
地域医療再生臨時特例交付金	2.0
合併特例債	55.3
震災復興特別交付税	12.6
一般財源（市の負担）	7.7
合計	110.0

施設の利用

次のポイントを考慮して

※5ページから続く  
なります。「市民交流センター（仮称）」内の防災備蓄倉庫や機材倉庫は、物資の搬出入、支援物資の受け入れなどの災害支援活動がスムーズに行えるように配置します。

計画しました。

●スムーズな動線

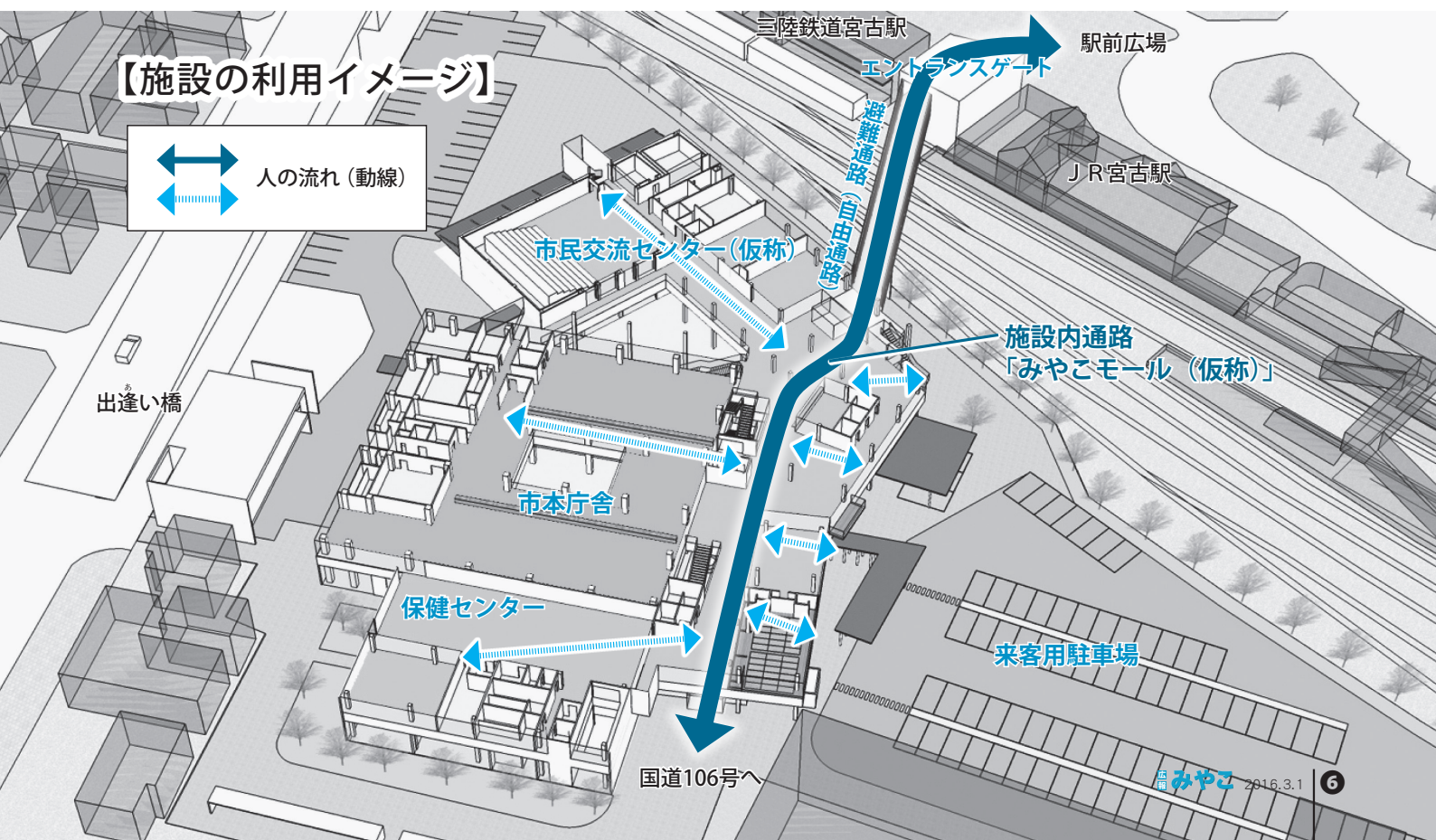
施設内通路「みやこモール（仮称）」を起点とし、「スムーズな動線」を計画します。目的地への経路は、分かりやすいサイン（表示）で案内。安全で、歩いていて楽しい活気あふれる空間づくりを目指します。下の【施設の利用イメージ】を

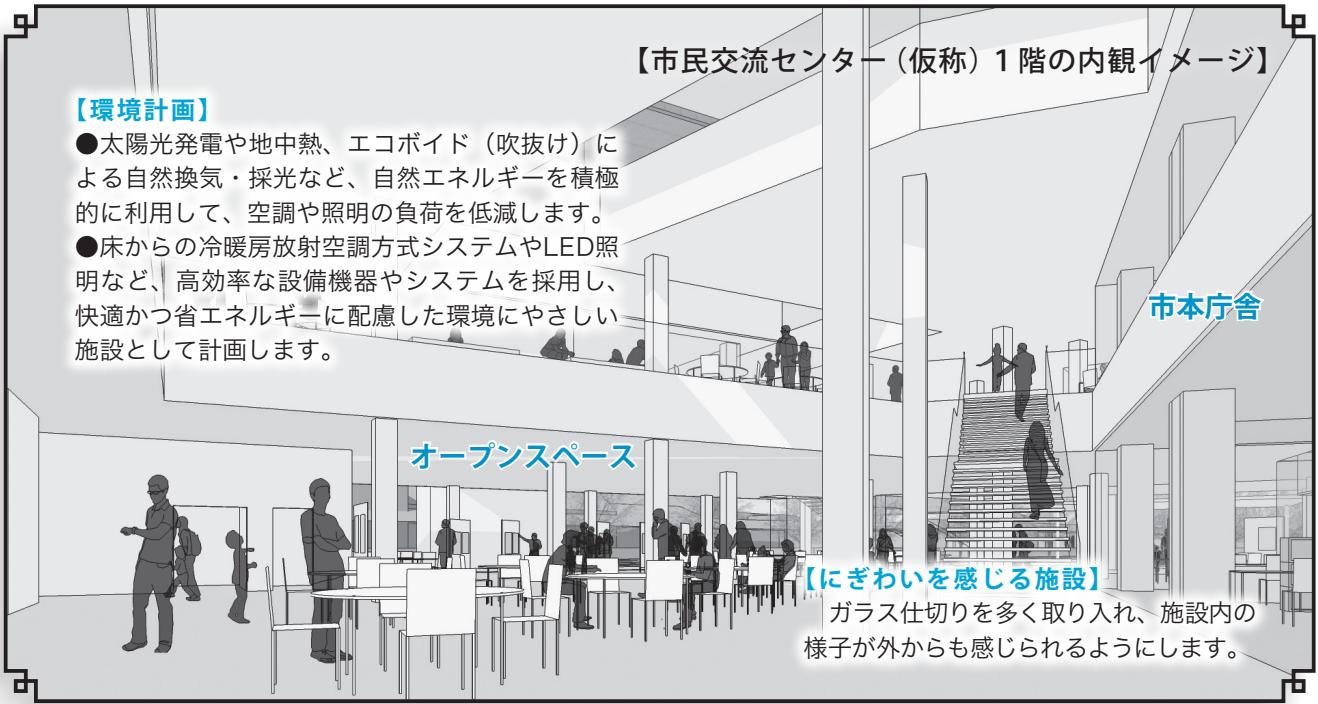
●オープンスペースを設置

誰もが自由に利用できる「オープンスペース」を「市民交流センター（仮称）」の1階に設置します。左ページの【内観イメージ】をご覧ください。

【施設の利用イメージ】

人の流れ（動線）





【環境計画】

- 太陽光発電や地中熱、エコボイド（吹抜け）による自然換気・採光など、自然エネルギーを積極的に利用して、空調や照明の負荷を低減します。
- 床からの冷暖房放射空調方式システムやLED照明など、高効率な設備機器やシステムを採用し、快適かつ省エネルギーに配慮した環境にやさしい施設として計画します。

【にぎわいを感じる施設】

ガラス仕切りを多く取り入れ、施設内の様子が外からも感じられるようにします。

Q & A

これまで市民説明会などで特に多く寄せられた質問を紹介いたします。

**Q.** 来客用駐車場が混み合うのでは？

**A.** 現在の市役所の利用状況などを参考に、駐車場は140台（駐輪場は104台）の計画です。ただし今回の施設は宮古駅に隣接し、長時間の駐車や放置自転車の懸念があります。

駐車場を有料にし、施設利用者は一定時間無料とするなどの仕組みを検討します。また宮古駅北側の市営駐車場との一体運用についても検討します。

**Q.** 避難通路（自由通路）は、いつでも、誰でも利用できるのですか？

**A.** 利用時間帯

「出前講座」に伺います！

宮古駅南側で計画している施設について、皆さんのところに向いて説明します（まちづくりふれあい講座として実施）。

■対象 市内に在住、在勤または在学する5人以上で構成されたグループ（団体、サークル、自治会など）  
※会場の手配（市内であること。個人宅は不可。会場使用料はご負担ください）や当日の進行などは、申込者（主催者）が行ってください

■時間 午前9時から午後9時までの2時間以内

■申し込み方法 申込書を持参・郵送・ファクス・電子メールのいずれかで提出してください。申込書は市役所、各総合事務所、各出張所で配布するほか、市ホームページ（[http://www.city.miyako.iwate.jp/shogai/matidukuri\\_koza.html](http://www.city.miyako.iwate.jp/shogai/matidukuri_koza.html)）からもダウンロードできます。※日程調整をお願いする場合があります

■申込期限 開催希望日の2週間前まで

■申込先・問い合わせ 市教委生涯学習課社会教育担当（新里庁舎2階、〒027-8501住所不要、☎68-9119、FAX72-2176）



は公共交通の始発から最終便までの時間を基本とし、それ以外の時間帯にも開放するかどうか、管理方法などを含め検討していきます。

エレベーターも設置し、車椅子や杖歩行の方、自転車（手押し）も通行できるように計画します。

※避難通路（自由通路）は幅4メートル程度の歩行者専用通路で、災害発生時の安全な避難のために設置します



市民説明会の様子（花輪農村文化伝承館）